

質疑回答書

2026年2月10日

参加者各位

町田市長 石阪 丈一

質疑に対し、以下のとおり回答いたします。

<p>【件名】持続可能なまち、町田へ（環境的側面から）調査研究支援業務委託</p>	
<p>【担当者名】 町田市未来づくり研究所 鬼頭・佐藤・寺内</p>	
<p>【電話】直通 042-724-2103</p>	
<p>質問内容</p>	<p>回答内容</p>
<p>(1) プロポーサル説明書 「プロポーザル説明書」(7)提出書類の作成、提出に関して、企画書のページ数は全体で15ページ以内とありますが、片面で15ページ(両面印刷した場合は7.5枚)という理解で間違いはないでしょうか。</p>	<p>(1) お見込みのとおりです。 片面で15ページ(両面印刷した場合は7.5枚)となります。なお印刷は、両面印刷でも構いません。</p>
<p>(2) プロポーサル説明書 「プロポーザル説明書」(9)評価、採点に関して、企画書の中で特に重視するポイントや、評価するポイント等ございましたらご教授ください。</p>	<p>(2) 仕様書P1「第1章 総則(背景・目的)」にあるとおり、地域資源を守る=いまある「緑」を手つかずのまま放置するのではなく、にぎわいを生み出す場所への転換や、地域と連動しての保全等、都市と自然がどのようにバランスを取れば「持続可能」となるのかを示したいと考えています。 例えば、仕様書P3「第2章 業務(業務内容) 研究課題の整理・解決策の検討」で示している、「市街化調整区域を地域の特性に応じて保全・活用の両面から整理し、特に活用の観点では既存の用途にとらわれず、エリア全体の価値向上を図る」等がポイントになります。</p>
<p>(3) 仕様書(案) 業務内容の「5.効果的な手法の検討」で想定されている「短期」と「中長期」の具体的な時期についてご教示いただけますでしょうか。</p>	<p>(3) 具体的な時期の指定はありません。 仕様書P3「第2章 業務(業務内容) 研究課題の整理・解決策の検討」で示した視点にある、「尾根幹線道路の拡幅、小田急多摩線および多摩都市モノレールの延伸といった交通環境の改善」はポイントのひとつになると考えています。</p>
<p>(4) 仕様書(案) 業務内容の「5.効果的な手法の検討」で行う内容は、「2.研究課題の整理・解決策の検討」で整理した解決策を、短期で実施する解決策と中長期で実施する解決策に分類するという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>(4) お見込みのとおりです。 短期で実施する解決策と中長期で実施する解決策に分類するということになります。</p>